

# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市議会議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ <http://kurodamich.exblog.jp>

7月1日付けで、「川西病院の診療体制の変更」が通知されました。

①内科医11名のうち、4〜8月に4人が退職。8月から救急外来体制を制限

②7月から耳鼻いんこう科は、非常勤医師による月・水・金の各午前中診療に③泌尿器科は、常勤医師1名の対応に、などの内容です。

この間、自治体病院は、国の政策で「医師不足、診療報酬の減、国民の所得減と負担増」を招いて赤字が拡大。自民党・公明党は、根本的な問題を解消せずに「赤字が続くなら、民間移管、もしくはは廃院を視野に入れた独立行政法人化計画を」と推進しています。

## 存続、拡充へ、情報公開と改善努力を

今回の多くの医師の退職は、こうした動きの矛盾が出たものといえます。

川西病院では3年間で5000人規模の患者増を計画していた最中での事態です。

川西病院は、川西・猪名川・豊能・能勢1市3町の住民を対象に、「産科、小児科、救急外来、僻地医療」を含む総合病院として、地域医療の拠点としての役割をはたしてきました。

### 国、県は制度の改善を

産科、小児科、救急外来などは不採算部門であり、地域住民に医療を十分提供するという自治体病院の使命を果たせば果たすほど経営が困難になるという矛盾が大きくなっていました。

今、医師確保の努力は最大限続けられています。私達住民も「国や県の医療制度の改善を」の声をあげていかなければなりません。救急車が来ても、運ばれる病院がない・・・なんてことを絶対に起こしてはなりません。

### 病院までのバス確保を

この6月議会で私(黒田)は、「猪名川町のふれあいバス」を市町連携で拡充し、川西病院まで運行するよう提案。「具体的検討に入る」との答弁がありました。ぜひ、公共交通網の拡充と「川西病院の存続・拡充」の声を広げましょう。

## 川西市民病院 救急外来制限など 診療体制後退

## ごみ処理施設、事故相次ぐ 環境保全委員会

第18回猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会が6月25日開催され、傍聴しました。この間、試運転時に基準を超えた排ガスデーター(12月分)を提出しなかったこと、新聞報道された11日間もの炉稼働停止や基準の200倍もの鉛が飛灰固形物で検出された件、リサイクルプラザでの火災などが報告されました。

各委員の質問に明解な答弁はなく、「停電を想定していない」「停電を見逃した」「重金属溶出防止剤の添加率の間違い」などと弁明。各委員から「こんな頼りない業者にまかしているのか。炉を止めてください」「排ガス基準が守れないなら持つて帰ってもらえ」「チエックできていない。信頼できない。第3者機関を置くべき」「リスクに関して全く危機管理なし」「企業に親切にしすぎ」など厳しい意見が出されました。

## 「頼りない業者、信頼できない」

「事務局は住民に説明できるように対応をしてから報告するように」と会長がまとめざるをえないようなひどい委員会でした。

**22日に 企業から報告、傍聴を**

7月22日(10時)国崎クリーンセンターで、「施設組合議会・議員総会」が開催されます。

この間の「不適合事象」の説明・報告があり、今回は前回拒否した企業側から説明されます。

たんぽぽだより81号やブログでもお伝えしていますが、住民の安全・安心を守るのは当たり前。そのための「危機管理」の徹底が求められます。

### 黒豆のつぶやき

この間の生活相談で、「悪法」の被害を実感している。

Aさん(80歳ひとり暮らし)は、介護認定が「要介護1」から「自立」に変更され、これまでの介護サービスが受けられなくなった。

Bさんは、厚生年金と国家公務員共済年金をそれぞれ18年間かけてきたが、「加給年金」が受け取れない。

Cさんは、3ヶ月ごとに転院を余儀なくされ、必要なリハビリは日数制限で受けられない。

いずれも、この間進められてきた、社会保障を切り捨てる法律変更の結果である。

「近代憲法」は、主権者である国民が権力(国家)に対して「これをせよ」「あれをするな」と、しぼりをかけ国民を守るもの。そして、日本国憲法は、国に対して生存権や労働権、基本的人権を守るよう、命じている。

現実には、憲法破りの「法律」が、国民のくらしや健康をおびやかしているが、今、私たちは憲法通りの「法制度」に変えるよう、声をつないでいかなければならない。



憲法が輝く兵庫県政をつくる会の田中 耕太郎さんと共に

投票率	投票数	得票数
全県 36.02%	1087279	492140
川西 34.72%	29807	13989
猪名川 37.47%	6429	2802

# 破綻した社会保障抑制路線

## 自公政権 骨太の方針

# 国民の暮らしを圧迫 転換こそ

社会保障費の抑制方針を来年度は適用しないが、抑制路線はあくまで続ける。麻生自民・公明内閣が23日の閣議で決めた「骨太の方針2009」は、破綻してまもなく、社会保障費抑制路線にしがみつくと自公政治の姿を示しました。国民は、経済危機と社会保障改悪に悲鳴を上げています。抑制路線をきっぱり撤回し、これまで削減してきた分を復活させ、社会保障を拡充する道にこそ踏み出すべきです。

(山田英明)

「社会保障関係費抑制路線」は小泉内閣(当時)がはじめて編成した2002年度予算から盛り込まれました。高齢化の進展などで自然に増加する社会保障関係費。自民・公明内閣は02年度予算以来、この自然増を毎年

2200億円(02年度は3000億円)抑制し続けてきました。抑制額の累計は09年度予算まで含めると1兆8400億円に達しています。「抑制方針」は、医療や年金、介護、生活保護など、社会保障制度の相次ぐ改悪として具体化されてきました。

担当相は22日、自民党の細田博之幹事長との会談で、「10年度予算では社会保障費の自然増をそのまま認め」と表明しました。ところが、「骨太の方針2009」には、「骨太の方針2006」等を踏まえ、歳出改革を継続」するとの文言が盛り込まれたままです。

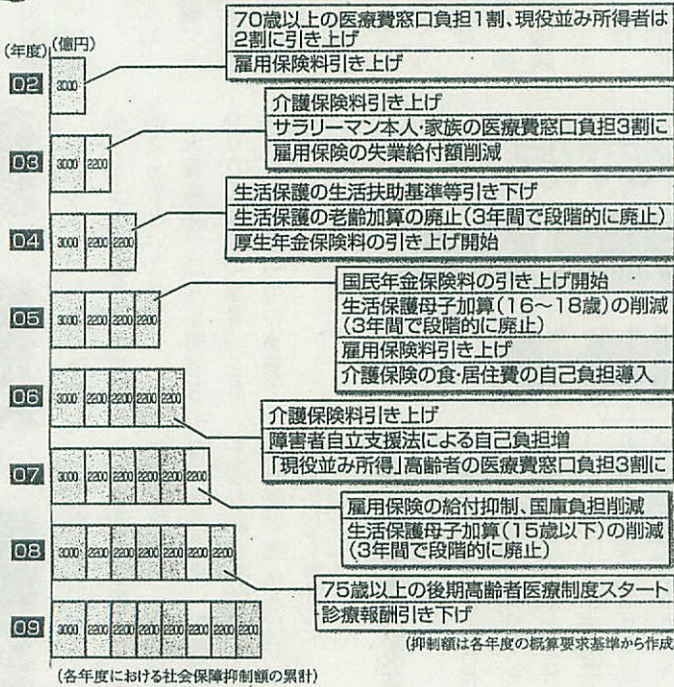
「抑制路線」への批判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政

「抑制路線」への批判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政

「抑制路線」への批判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政

## 相次ぐ制度改悪 1.8兆円減

自民・公明政権による「社会保障抑制路線」が相次ぐ社会保障改悪として具体化されてきた



## 13兆円削減

社会保障費 10年間で

「抑制路線」への批判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政

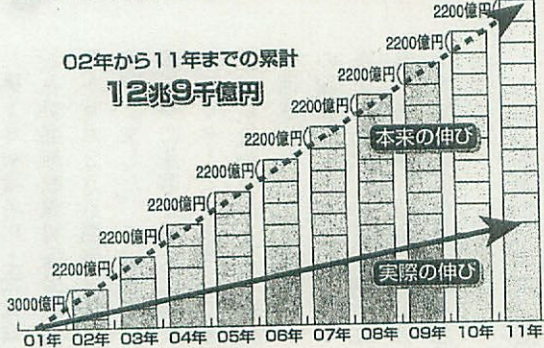
「抑制路線」への批判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政

「抑制路線」への批判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政

「抑制路線」への批判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政

「抑制路線」への批判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政判の高まりのもと、与謝野馨財務・経済財政

### 2200億円削減によって失われる社会保障費



「社会保障費削減による国民の悲鳴が聞かえないのか」。日本共産党の小池晃議員は18日の参院厚生労働委員会、社会保障費の自然増分を毎年2200億円削減する方針を今後も続けられ、2002~11年度の10年間の累積削減額は約12兆9000億円に達することを告発し、削減撤回を骨太方針2009に明記して、削られた社会保障費を元に戻すよう求めました。

## 制度改悪 国民に被害深刻

小池議員「誤り認め元に戻せ」

## 消費税増税にしがみつく

政府の税財政の「中期プログラム」と「09年度税制改正法」付則にのっとって「社会保障の機能強化と安定財源確保を着実に具体化する」。骨太の方針2009はこう明記しました。

「中期プログラム」同方針を取りまとめ

「社会保障の機能強化をはかる際には、やはり財源のことを考

と「税制改正」法付則は、消費税を増税するための法案を11年度までに成立させることを目指しています。

「骨太方針」はこれに沿って、消費税増税を「着実に具体化する」ことを盛り込んだのです。

「社会保障の機能強化をはかる際には、やはり財源のことを考

と「税制改正」法付則は、消費税を増税するための法案を11年度までに成立させることを目指しています。

「骨太方針」はこれに沿って、消費税増税を「着実に具体化する」ことを盛り込んだのです。



しんぶん  
**赤旗**  
日刊●月2,900円  
日曜版●月800円

をお読みください  
お申し込みは  
黒田みちまで  
TEL&FAX 790-3055